

## 田中 道文 さん

### 【受験履歴】

H24 1次:財務会計で足切り

H25 1次:通過 2次:敗退

H26 2次:通過

H25の1次は、難易度が安定していると考えた運営管理も保険で受験しました。H25の2次は、最後まで何を答えていいかわからず、苦しまぎれで国語の試験問題として対処し結果は全てB。合否を分ける何等かの“作法”があり、それが分からない限り2次合格はない、と感じた受験でした。

### 【MMC 選択理由】

H25は他社の2次通学講座を申し込むも、自分の理解力不足から講義・添削とも納得できないことが多く、数回の受講で挫折しました。といて独学で“作法”は身につかない、通信は続かない、と思いH26も通学から再選択。MMCを選んだのは、電話の問合わせをした時の感じが良かった、そこで無料解答速報会に参加し期待通り講師の方々の対応が良く解説もわかりやすかった、と感じたためです。また、二次対策は添削中心との思いから、個別アドバイス付添削と少人数制に惹かれました。尚、この時点で“MMCの武器”の何たるかは全く認知していません。2次試験の特徴を捉えた対策、と理解できたのは9月になってからでした…

### 【MMCに通学して】

親身な中居先生をして困惑させるレベルの私が2次を通過できたのは、優れたMMCの武器、同じ診断士を志す仲間として受講生を遇してくださる講師の方々の対応、に因ったと思います。

1月の受講開始から4月までMMCの武器がまったく扱えず、答練では何とも悲惨な点が続きました。60点を割ることがほぼ無くなるのはゴールデンウィーク以降のことで、この間、再答案を作ってはSTEP1の解説動画を繰り返し視聴し武器の使い方を確認しました。答練・模試で、武器をそれなりに使った気がしたのは9月を過ぎてからです。というのも、1事例を解くだけで疲労困憊していたのが、1日3~4事例解いても相応の疲労感で済むようになってきたからです。何を問われているのか、解答の方向性をどうするか、で悩んでいた時間が、事例文から解答の要素を探し、要素を組み合わせて解答を書く作業時間になってきたためと思われます。徳川先生に何度も「考えてもムダ」と諭されたことが思い出されます。また、自分にはしっくりこなかった段落の区切り線書き、S・W・O・Tのマーキング、蛍光ペンのアンダーライン等はやめて、黒鉛筆で余白に解答要素のメモを書くだけの手順に収まりがついたことも関係ありそうです。

次に心配になったのは、本試験は答練・模試とは違う、本試験は難化している・傾向が変わる、等の話です。当初から講師の方々より「カリキュラムに沿って練習していれば問題ない」と聞いてはいましたが正直なところ半信半疑が続き、9月以降に過去問を全て試した時ようやく納得できました。設問も事例文も、前年に解いた時とは違って見えたのです。いずれの年も「同じことが繰り返

返し問われている」と過去の体験記にもありましたが、ようやくそのように読めました。本番も MMC の武器をいつも通りに使った作業で済みました。また、他社の模試や教材に手を伸ばして安心感を得る誘惑も感じましたが、“作法”が乱れると思い直し、一切手をつけませんでした。MMC の復習だけで手一杯、が本当のところですか。ただ、受験生のその時々不安を見事に捉えた MMC の (客単価向上) オプション講座は一通り申し込んでしまいました。欠席して資料をもらうだけとなった講座もありましたが、それも含めて満足しています。超苦手の事例Ⅳ、本番の NPV 計算で出たラッキーパンチは、オプションでのトレーニング効果によると思われます。各種講座はピーキングを考えた日程である、とも感じました。

そして、講師の方々の親身な対応は、私が継続できた最大要因です。答練で、そして小テストまで痛ましい点数・順位の連続でしたが、MMC への通学は何となく楽しく、講座を終えて帰宅する時も、あらためて頑張ろうという気になっていました。ノウハウと継続、どちらが欠けても合格はなかったです。

絶賛となりましたが嘘はありません。勘違いはあるかもしれません。

講師の皆様、本当にありがとうございました。